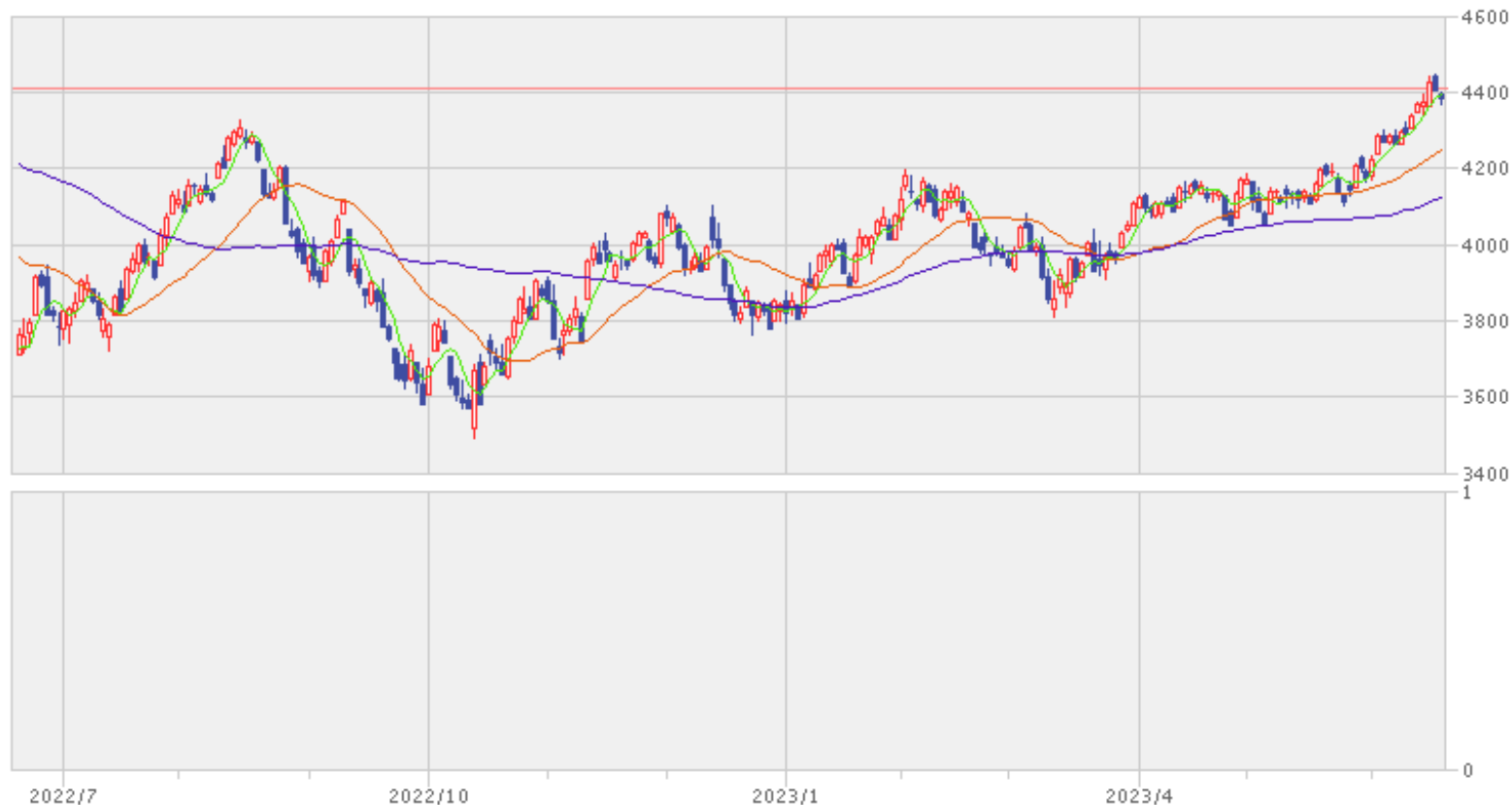


たばぞうさん、どう思う？S&P500投資と金価格上昇

日興アセットマネジメント Tracers S&P500ゴールドプラス

過去1年間のS&P500の推移



単純移動平均(5日) 単純移動平均(25日) 単純移動平均(75日)

期間: 2022年6月21日~2023年6月20日
出所: 楽天証券

※上記指数は、当ファンドのベンチマークではありません。
※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「Tracers S&P500ゴールドプラス」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。

過去1年間の金価格の推移



※金価格は円/gあたりの小売り価格。

※上記指数は、当ファンドのベンチマークではありません。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

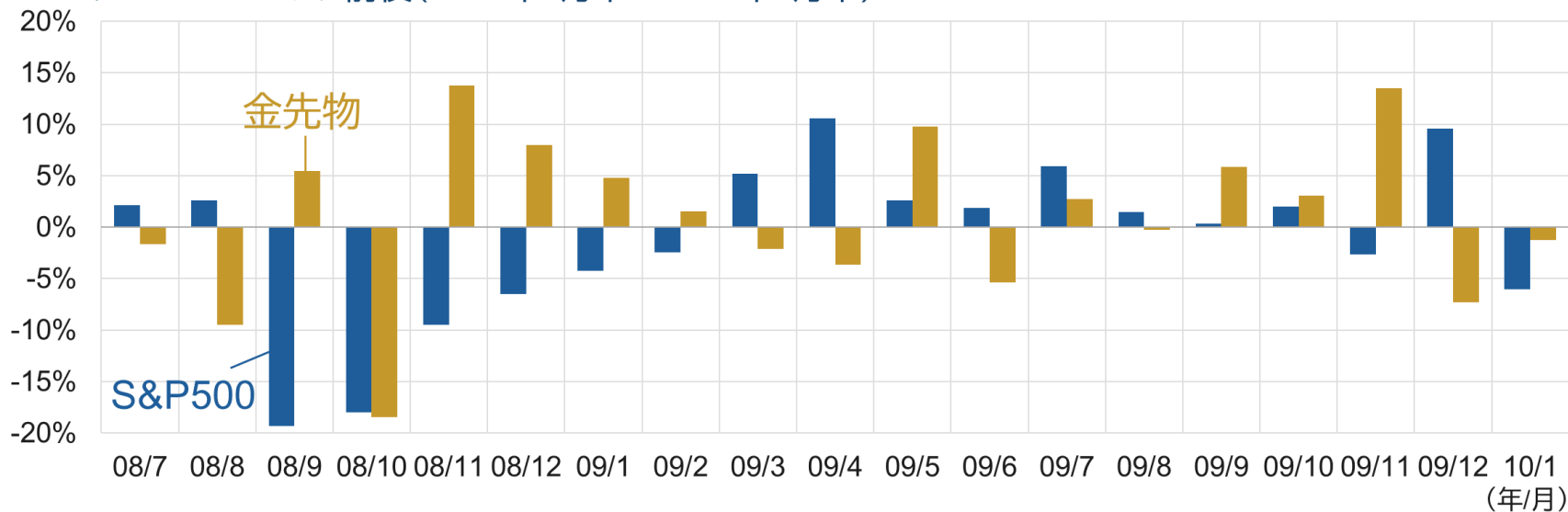
期間：2022年6月21日～2023年6月20日

出所：楽天証券

S&P500と金を併せ持つ？

「ショック時」におけるS&P500と金先物の値動き(月次)

リーマン・ショック前後(2008年6月末～2010年1月末)

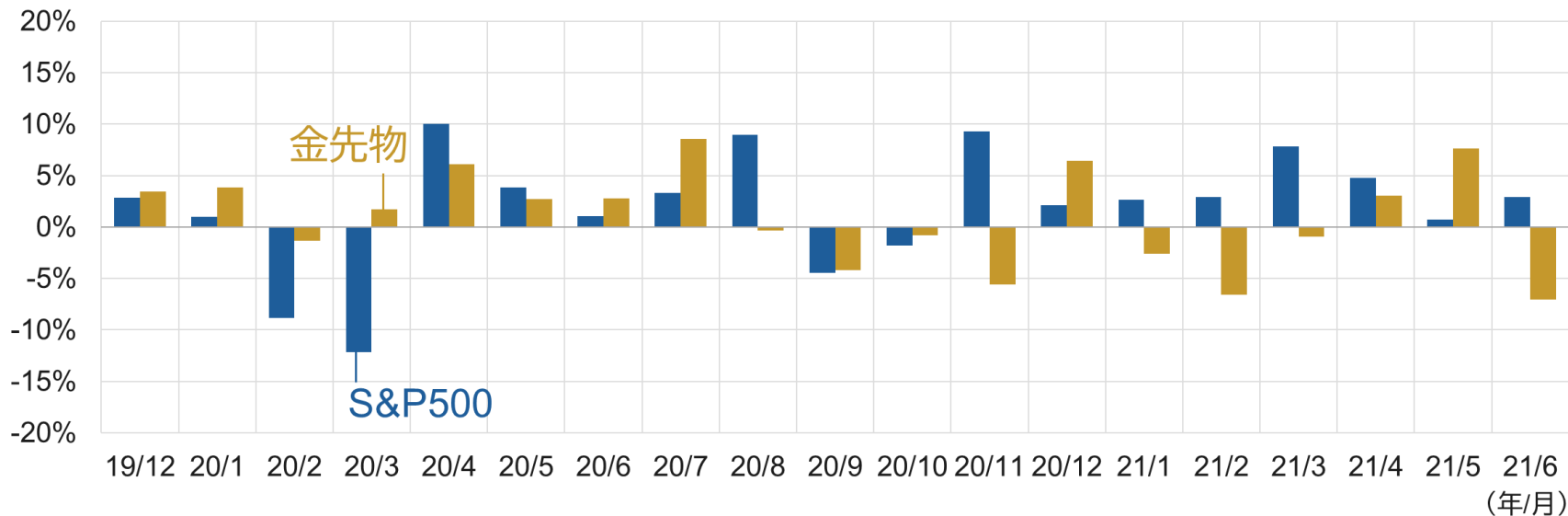


●S&P500: S&P500指数(税引後配当込み、円換算ベース) ●金先物: ブルームバーク金サブ指数(エクセスリターンベース、米ドルベース) ※エクセスリターンとは、先物取引のロールオーバーなどを考慮したものです。 ※金先物は米ドルで決済される先物取引を活用しますが、買建額に対する為替変動の影響がないことから米ドルベースを掲載しています。なお、実際の金先物取引では、評価損益分や外貨建て証拠金については為替変動の影響を受けます。 ※上記指数は、当ファンドのベンチマークではありません。 ※信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成 ※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

S&P500と金を併せ持つ？

「ショック時」におけるS&P500と金先物の値動き(月次)

コロナ・ショック前後(2019年11月末～2021年6月末)



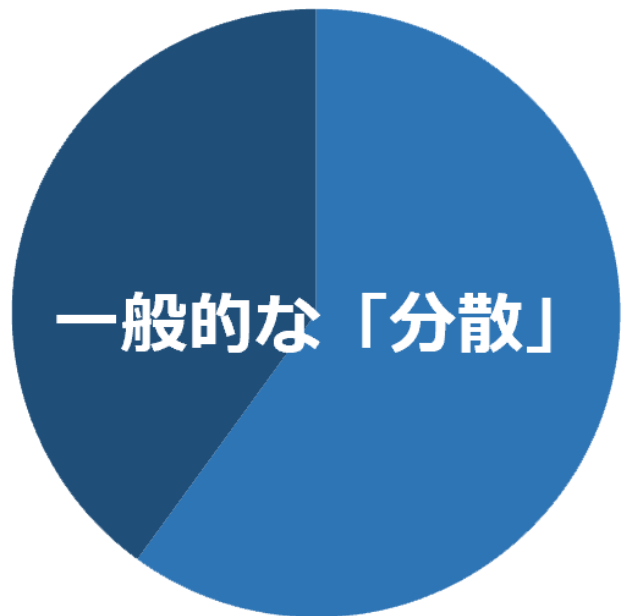
●S&P500: S&P500指数(税引後配当込み、円換算ベース) ●金先物: ブルームバーグ金サブ指数(エクセスリターンベース、米ドルベース) ※エクセスリターンとは、先物取引のロールオーバーなどを考慮したものです。 ※金先物は米ドルで決済される先物取引を活用しますが、買建額に対する為替変動の影響がないことから米ドルベースを掲載しています。なお、実際の金先物取引では、評価損益分や外貨建て証拠金については為替変動の影響を受けます。 ※上記指数は、当ファンドのベンチマークではありません。 ※信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成 ※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。



米国株をしっかりと100%、さらに金にも同じだけ100%
50%ずつ買う単純な分散ではなく、
「リターンの向上」と「リスク要因の分散」を同時に期待する

こんなの欲しかった。

一般的な分散イメージ



※上記はイメージ図です

たとえば・・・

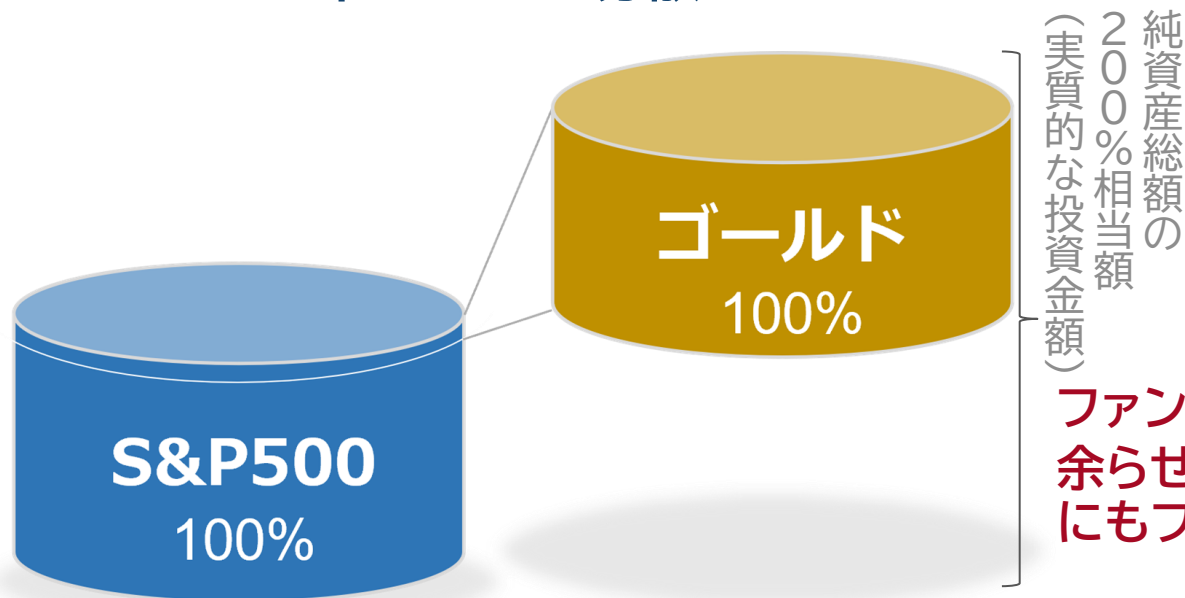
「株式60%・債券40%」のように分散すると、
株式市場が100上がってもファンドは60の
効果しか得られません。



分散により
値上がり期待は低下

Tracers S&P500ゴールドプラス

株式のパワーを削がずに分散する、
当ファンドの分散イメージ

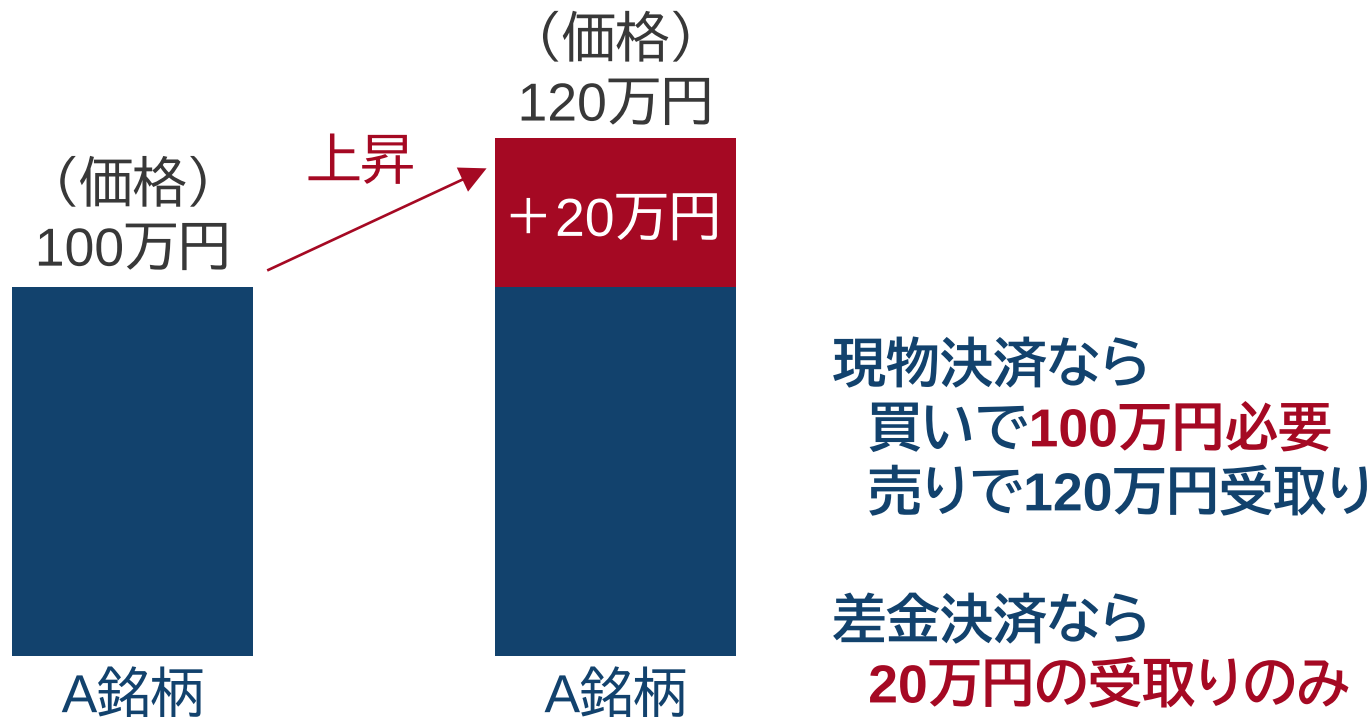


**ファンドの資産をS&P500へ投資。
余らせておいた現金を活用して、金先物
にもファンド資産の100%相当額投資。**

上記は当ファンドの資産配分のイメージです。●米国株式では、マザーファンドならびに米国の指数先物取引を投資対象とします。●米国株式および金への投資には主に先物取引を活用します。米国の指数先物取引および金先物取引においては、買建額に対する為替変動の影響がなく、為替変動の影響を受けるのは主に評価損益分と外貨建て証拠金となります。このほか、米国株式の現物投資部分は実質的に為替変動の影響を受けます。●米国の指数先物取引および金先物取引に投資する場合、先物取引の仕組みにより為替変動の影響が限定的となることから、為替が円安となる局面での為替差益も限定的となります。●実際の運用は、純資産総額の合計が200%とならない場合があります。また、資産ごとの比率も変動する可能性があります。

当資料は、投資者の皆様へ「Tracers S&P500ゴールドプラス」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。

(ご参考)先物取引の特徴

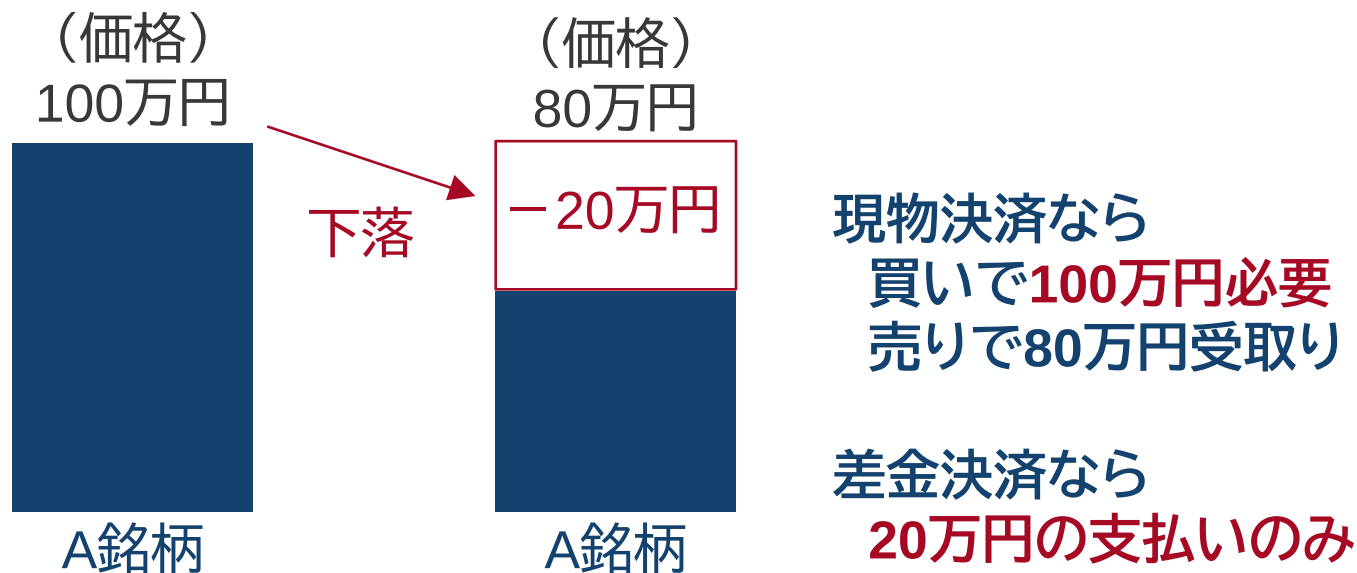


※上記はイメージ図です。

※実際の取引には証拠金が必要です。

当資料は、投資者の皆様へ「Tracers S&P500ゴールドプラス」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。

(ご参考)先物取引の特徴



※上記はイメージ図です。

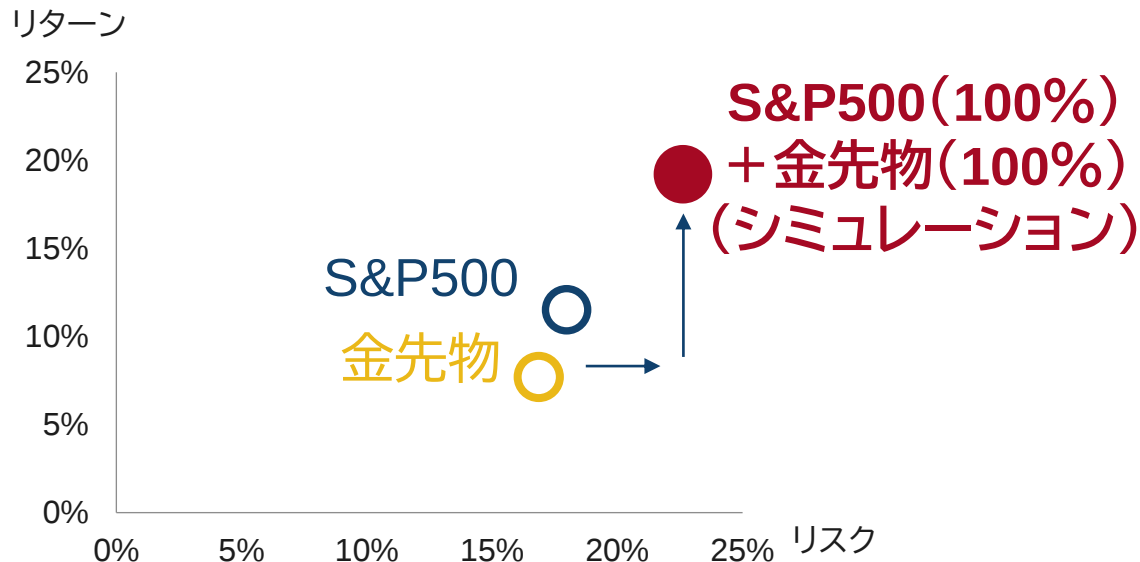
※実際の取引には証拠金が必要です。

当資料は、投資者の皆様へ「Tracers S&P500ゴールドプラス」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。

Tracers S&P500ゴールドプラス

下記は過去のシミュレーションの結果であり、当ファンドの運用実績ではありません。

各資産とシミュレーションのリスク・リターン (2002年12月末～2022年7月末、月次)



【S&P500】S&P500指数(税引後配当込み、円換算ベース)、【金先物】ブルームバーグ金サブ指数(エクセスリターンベース、米ドルベース)、【S&P500(100%) + 金先物(100%) (シミュレーション)】S&P500と金先物を100% : 100%の割合で合成し、月次リバランス ※金先物は米ドルで決済される先物取引を活用しますが、買建額に対する為替変動の影響がないことから米ドルベースを掲載しています。なお、実際の金先物取引では、評価損益分や外貨建て証拠金については為替変動の影響を受けます。 ※上記指数は、当ファンドのベンチマークではありません。リターンは月次リターンの平均を、リスクは月次リターンの標準偏差を、それぞれ年率換算。信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記は、過去の指数データをもとに算出したシミュレーションの結果であり、将来の運用成果などを約束するものではありません。当ファンドの運用においては、売買コストや信託報酬、運用資産の規模、設定解約に伴う資金流出入などによる影響が生じます。そのため、当ファンドの運用成果が、上記シミュレーションと同様のリターンを達成することを約束するものではありません。当ファンドの実際のパフォーマンスなどについては、開示資料などをご覧ください。
●純資産の200%の運用を行なうことなどから、当該シミュレーション期間中の値動き(リスク)が大きかった点には十分ご注意ください。

当資料は、投資者の皆様へ「Tracers S&P500ゴールドプラス」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。

Tracers S&P500ゴールドプラス

下記は過去のシミュレーションの結果であり、当ファンドの運用実績ではありません。

各資産とシミュレーションのリスク・リターン (2002年12月末～2022年7月末、月次)

	S&P500(100%) + 金先物(100%) (シミュレーション)	S&P500	金先物
リターン	19.2%	11.5%	7.7%
リスク	22.6%	18.0%	16.9%
リターン/ リスク	0.85	0.64	0.46
最大下落幅	▲53.8%	▲59.3%	▲43.5%

**S&P500への単独投資と比較し、
リターンの向上が期待できる。
さらに、最大下落幅も抑制！**

【S&P500】S&P500指数(税引後配当込み、円換算ベース)、【金先物】ブルームバーグ金サブ指数(エクセスリターンベース、米ドルベース)、【S&P500(100%) + 金先物(100%)(シミュレーション)】S&P500と金先物を100% : 100%の割合で合成し、月次リバランス ※金先物は米ドルで決済される先物取引を活用しますが、買建額に対する為替変動の影響がないことから米ドルベースを掲載しています。なお、実際の金先物取引では、評価損益分や外貨建て証拠金については為替変動の影響を受けます。 ※上記指数は、当ファンドのベンチマークではありません。リターンは月次リターンの平均を、リスクは月次リターンの標準偏差を、それぞれ年率換算。信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記は、過去の指数データをもとに算出したシミュレーションの結果であり、将来の運用成果などを約束するものではありません。当ファンドの運用においては、売買コストや信託報酬、運用資産の規模、設解除に伴う資金流出などによる影響が生じます。そのため、当ファンドの運用成果が、上記シミュレーションと同様のリターンを達成することを約束するものではありません。当ファンドの実際のパフォーマンスなどについては、開示資料などをご覧ください。
●純資産の200%の運用を行なうことなどから、当該シミュレーション期間中の値動き(リスク)が大きかった点には十分ご注意ください。

当資料は、投資者の皆様には「Tracers S&P500ゴールドプラス」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。

Tracers S&P500ゴールドプラス

下記は、当ファンド設定前までのデータをもとにしたシミュレーションの結果であり、
当ファンド(2022年8月設定)の運用実績ではありません。

各資産とシミュレーションの推移 (2002年12月末～2022年7月末、月次)



【S&P500】S&P500指数(税引後配当込み、円換算ベース)、【金先物】ブルームバーグ金サブ指数(エクセスリターンベース、米ドルベース)、【S&P500(100%) + 金先物(100%) (シミュレーション)】S&P500と金先物を100%:100%の割合で合成し、月次リバランス、【S&P500(50%) + 金先物(50%) (シミュレーション)】S&P500と金先物を50%:50%の割合で合成し、月次リバランス ※金先物は米ドルで決済される先物取引を活用しますが、買建額に対する為替変動の影響がないことから米ドルベースを掲載しています。なお、実際の金先物取引では、評価損益分や外貨建て証拠金については為替変動の影響を受けます。 ※上記指数は、当ファンドのベンチマークではありません。リターンは月次リターンの平均を、リスクは月次リターンの標準偏差を、それぞれ年率換算。

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記は、過去の指数データをもとに算出したシミュレーションの結果であり、将来の運用成果などを約束するものではありません。当ファンドの運用においては、売買コストや信託報酬、運用資産の規模、設定解約に伴う資金流出入などによる影響が生じます。そのため、当ファンドの運用成果が、上記シミュレーションと同様のリターンを達成することを約束するものではありません。当ファンドの実際のパフォーマンスなどについては、開示資料などをご覧ください。
●純資産の200%の運用を行なうことなどから、当該シミュレーション期間中の値動き(リスク)が大きかった点には十分ご注意ください。

当資料は、投資者の皆様には「Tracers S&P500ゴールドプラス」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。

Tracers S&P500ゴールドプラス

ファンドと各資産の価格推移 (2022年8月末～2023年5月末)



設定来の運用実績は、
単一資産を上回るリターンに！

※ファンドは、分配金再投資ベースのパフォーマンスです。※各資産の内容は以下の通りです。各資産の推移は、あくまでも参考情報であり、当ファンドのベンチマークではありません。

S&P500 : S&P500指数(税引後配当込み、円ベース)

金 : ブルームバーク金サブ指数(エクセスリターンベース、米ドルベース)

※金先物は米ドルで決済される先物取引を活用しますが、買建額に対する為替変動の影響がないことから米ドルベースを掲載しています。なお、実際の金先物取引では、評価損益分や外貨建て証拠金については為替変動の影響を受けます。※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

当資料は、投資者の皆様へ「Tracers S&P500ゴールドプラス」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。

当ファンドの信託報酬(年率)

委託会社 0.079%

販売会社 0.079%

受託会社 0.023%

※上記の率は税抜です。別途消費税がかかります。

合計 0.181%
(税込0.1991%)

一般的な「ゴールドファンド」よりも低コスト！

※日興アセットマネジメント調べ。2023年6月時点。

(プラス その他の費用・手数料(諸費用(上限0.1%)、売買委託手数料など)

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。

そうは言っても…

・S&P500も金も、両方とも下落する場合もある。

・いわば1万円で2万円分の投資効果、値動きは決して小さくない。

長期投資を念頭に置き、
前向きなリスクを取れる方
に向けたファンドです！

本日のまとめ

- ・**S&P500**と**金**を併せ持つことで分散効果がある(値動きの安定化に期待)
- ・**金先物**を活用することで、**S&P500**と**金**に100%ずつ、合計200%投資で株式のパワーを維持(分散とリターン向上の両立)
- ・そうは言っても、値動きは大きく、短期的には分散効果が効かない場面も

Tracers
S&P500
ゴールドプラス

投資信託

自分で投資信託を探したい方
通常モード

楽天証券はあなたの資産形成を応援します！

資産形成について学ぶ



ライフプランに合った

自分に合った資産形成を知る



性格やニーズ

特集



日興アセットのオトナの七・五・三

「投信メーカー」ならではの。日興アセットの投資信託の始め方、選び方、続け方。

「良くなる企
選び育てる
新発想。
サステナブル
新たなステ

ピックアップ

セミナー

【参加費無料】24周年セミナー（オンライン）開催いたします！

出所：楽天証券

当資料は、投資者の皆様には「Tracers S&P500ゴールドプラス」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。

「投信メーカー」ならではの。

日興アセットの

投資信託の始め方、選び方、続け方

五・三・五・三

30歳は50歳まで、50歳なら70歳までなど、20年単位で大きく考える資産運用

for 楽天証券

衣食住・投信
日興アセットマネジメント

PR

ランキングやYouTubeより前に「ずっと使える必要十分知識をつける」が勝ち。

日興アセットは投信のメーカーです。60年以上前に日興證券（当時）の子会社として設立されて以降、「日興」の名は付いていますが、複数の販売会社と取引のある、自分では販売しない製造特化のメーカーです。

日頃接点がない一般のお客様の「？」を知るために2020年から毎月始めたのが、少人数のネットセミナー「オトナの七・五・三」。このページではその内容を大きく2つのセクションでお伝えします。販売でなく製造に特化しているメーカーならではの、本質的で長く役に立つ知識がアタマに入り、モヤモヤしていたことがクリアになるはずと確信しています。



ただ将来を考えたいだけなのよ。
株とかFXでガシガシやりたいわけじゃないのよ。

普通の人が必要十分知識セクション

今福@日興アセットの 2人の娘とその夫に送る 資産形成の黄金律



五・三・五・三 / 一・四・二

投信メーカーならではの「必要十分知識」を、イラストで学ぶ

大津画伯@日興アセットの 分かりやすいにも程がある イラスト投信部屋



五・三・五・三 / 商品編

上と下のコンテンツも、あとでぜひ！！

ファンド選びの具体案 から先に知りたい方はこちらから

NISAの
「上乗せ積立」も
同じファンドで
いいの？

まとまった
お金で
買うなら？



とはいえアンテナが高くなることはメリット。
でもオタクになってもいいことないかも。

普通の人を追うべきマーケットセクション

株式市場に代表される「マーケット」は毎日毎週、必ず何かしらの「事件」が起こっています。そして投信を通じてマーケットに参加している以上、その影響は基準価額の変動というかたちで避けることはできません。

しかし日興アセットはマーケット自体を深遠いことをお勧めしません。投信を通じてマーケットに参加するための、程よい付き合い方、正しい付き合い方を提示し続けたいと思います。

出所：楽天証券

リスク情報

投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式、上場投資信託証券および株価指数先物取引ならびに金先物取引にかかる権利を実質的な投資対象としますので、株式、上場投資信託証券および株価指数先物取引ならびに金先物取引にかかる権利の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化、金地金の市況の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。主なリスクは以下の通りです。

【**価格変動リスク**】●株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。●上場投資信託証券の価格は、連動目標とする資産価格および当該資産が関係する市況や市況の変化などの要因により変動します。上記事項に関する変動があった場合、ファンドに損失が生じるリスクがあります。●株価指数先物取引および金先物取引にかかる権利の価格は、投資対象となる原資産の値動きや先物市場の需給などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、当該先物取引にかかる権利の値動きに予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。【**流動性リスク**】●市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券および先物取引にかかる権利などの取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。【**信用リスク**】●投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト(債務不履行)や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落(価格がゼロになることもあります)。し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。●上場投資信託証券について、金融商品取引所が定める一定の基準に該当した場合、上場が廃止される可能性があり、廃止される恐れが生じた場合や廃止となる場合も上場投資信託証券の価格は下がり、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあります。【**為替変動リスク**】●外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。【**デリバティブリスク**】●金融契約に基づくデリバティブとよばれる金融派生商品を用いることがあり、その価値は基礎となる原資産価値などに依存し、またそれらによって変動します。デリバティブの価値は、種類によっては、基礎となる原資産の価値以上に変動することがあります。【**レバレッジリスク**】●株価指数先物取引および金先物取引などを積極的に用いてレバレッジ取引を行ないます。したがって、株式および金地金市況の影響を大きく受けます。※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意事項

●当ファンドは、投資者の皆様には「Tracers S&P500ゴールドプラス」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。●当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。●投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。●分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相応、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部戻しに相当する場合があります。●投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

お申込みメモ

●商品分類:追加型投資/海外/資産複合●購入単位:販売会社が定める単位※販売会社の照会先にお問い合わせください。●購入価額:購入申込受付日の翌営業日の基準価額●信託期間:無期限(2022年8月31日設定)●決算日:毎年7月8日(休業日の場合は翌営業日)●収益分配:毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。●換金価額:換金申込受付日の翌営業日の基準価額●購入・換金申込不可日:販売会社の営業日であっても、購入・換金の申込日がニューヨーク証券取引所の休業日、ニューヨーク商品取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。●換金代金:原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。●課税関係:原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。●配当控除の適用はありません。●益金不算入制度は適用されません。

基準価額変動リスクの大きいファンドですので、ご投資の際には慎重にご判断ください。

手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。＜申込時、換金時にご負担いただく費用＞●購入時手数料：ありません。●換金手数料：ありません。●信託財産留保額：ありません。＜信託財産で間接的にご負担いただく（ファンドから支払われる）費用＞●運用管理費用（信託報酬）：ファンドの日々の純資産総額に対し年率0.1991%（税抜0.181%）●その他の費用・手数料：目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用（業務委託する場合の委託費用を含みます。）、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。また、有価証券の貸付は現在行なっておりませんので、それに関連する報酬はかかりません。※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

●委託会社：日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第368号 加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会 ●受託会社：三井住友信託銀行株式会社 ●販売会社：楽天証券株式会社 金融証券取引業者 関東財務局長（金商）第195号、商品先物取引業者 加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

基準価額変動リスクの大きいファンドですので、ご投資の際には慎重にご判断ください。

投資信託のリスクと費用について

投資信託は、商品によりその投資対象や投資方針、申込手数料等の費用が異なり、多岐にわたりますので、当該商品の目論見書、契約締結前交付書面等をよくお読みになり、内容について十分にご理解いただくよう、お願いいたします。

投資信託の取引にかかるリスク

- ・ 主な投資対象が国内株式
組み入れた株式の値動きにより基準価額が上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。
- ・ 主な投資対象が円建て公社債
金利の変動等による組み入れ債券の値動きにより基準価額が上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。
- ・ 主な投資対象が株式・一般債にわたっており、かつ、円建て・外貨建ての両方にわたっているもの
組み入れた株式や債券の値動き、為替相場の変動等の影響により基準価額が上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。

投資信託の取引にかかる費用

各商品は、銘柄ごとに設定された購入又は換金手数料（最大税込4.40%）および運営管理費用（信託報酬等）の諸経費をご負担いただく場合があります。また、一部の投資信託には、原則として換金できない期間（クローズド期間）が設けられている場合があります。

- ・ お買付時にお客様に直接ご負担いただく主な費用
「買付手数料」：ファンドによって異なります。
- ・ 保有期間中に間接的にご負担いただく主な費用
「ファンドの管理費用（含む信託報酬）」：ファンドによって異なります。
- ・ ご換金時にお客様に直接ご負担いただく主な費用
「信託財産留保額」「換金手数料」：ファンドによって異なります。

買付・換金手数料、信託報酬、信託財産留保額以外にお客様にご負担いただく「その他の費用・手数料等」には、信託財産にかかる監査報酬、信託財産にかかる租税、信託事務の処理に関する諸費用、組入有価証券の売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、受託会社の立替えた立替金の利息等がありますが、詳細につきましては「目論見書」で必ずご確認いただきますようお願いいたします。

また、「その他の費用・手数料等」については、資産規模や運用状況によって変動したり、保有期間によって異なったりしますので、事前に料率や上限額を表示することはできません。

投資信託に関する情報提供について

- 楽天証券株式会社がウェブページ上で掲載している投資信託関連ページは、お取引の参考となる情報の提供を目的として作成したものであり、投資勧誘や特定銘柄への投資を推奨するものではありません。
- 各投資信託関連ページに掲載している投資信託は、お客様の投資目的、リスク許容度に必ずしも合致するものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- 各投資信託関連ページで提供している個別投資信託の運用実績その他の情報は、当該投資信託の今後の運用成果を予想または示唆するものではなく、また、将来の運用成果をお約束するものでもありません。

（楽天証券分類およびファンドスコアについて）

- 楽天証券ファンドスコアは、「運用実績」を一定の算出基準に基づき定量的に計算したもので今後の運用成果を予想または示唆するものではなく、将来の運用成果をお約束するものでもありません。最終的な投資判断は、運用コスト、残高の規模、資金流入額、運用プロセス、運用体制等を考慮し、お客様ご自身でなさるようお願いいたします。

● 情報提供：株式会社QUICK

各投資信託関連ページに掲載している情報（以下「本情報」という）に関する知的財産権は、楽天証券株式会社、株式会社QUICKまたは同社の情報提供元（以下三社を合わせて「情報提供元」という）に帰属します。本情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではなく、これらの情報によって生じた損害について、情報提供元は原因の如何を問わず一切の責任を負いません。本情報の内容については、蓄積・編集加工・二次加工を禁じます。また、予告なしに変更を行うことがあります。

免責事項

本資料は、将来の株価変動等を予測し保証するものではありません。また、有価証券の取引その他の取引の勧誘を目的としたものではありません。記載された情報の正確性について万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。本資料及び資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料及び資料にある情報の使用による結果について、当社は何ら責任を負うものではありませんのでご了承ください。

資料に記載している価格、数値、金利等は、諸情勢により変化し実際とは異なる場合がございます。また、お取引を締結する際に実際に用いられる価格または数値を表すものでもございませんので、予めご了承下さいませようお願い申し上げます。

楽天証券の各取扱商品等に投資いただく際は、所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。また各取扱商品等は、価格の変動等によって損失が生じるおそれがあります。投資にかかる手数料等およびリスクについては、楽天証券ウェブサイトの「投資にかかる手数料等およびリスク」ページや「契約締結前交付書面」等をよくお読みになり、内容について十分にご理解ください。

投資信託は、価格の変動等により損失が生じるおそれがあります（ファンドごとのリスクは異なります。必ず、各ファンドの目論見書にてご確認ください）。投資信託をご購入の際は、あらかじめ最新の投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ず内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。投資信託のお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。なお、投資信託は預貯金とは異なります。ご購入時には各ファンドごとに設定された所定の手数料がかかります。

<所属金融商品取引業者の商号等>

商号等：楽天証券株式会社/金融商品取引業者関東財務局長（金商）第195号/商品先物取引業者

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

